

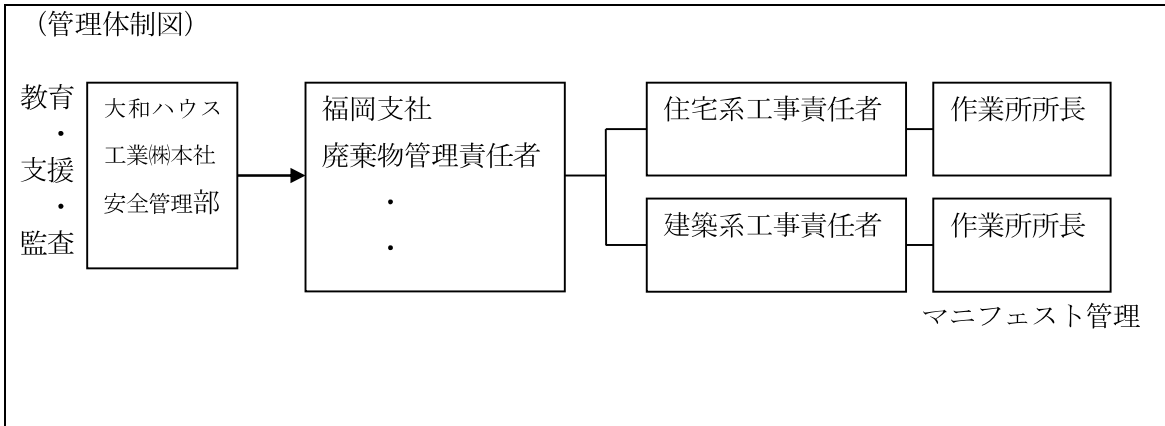
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 1年 6月 21日</p> <p>大分県知事 広瀬 勝貞 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 福岡市博多区上牟田2丁目11番24号 氏 名 大和ハウス工業株式会社福岡支社 支社長 福島 斉 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-411-7446</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 福岡支社
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区上牟田2丁目11-24
計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成予定工事高 55,214百万円
③従業員数	総数461人 正社員数439人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅系 新築工事・・自社便による工場デポ化による減量化 解体工事・・処理委託契約を締結した事業者依頼</li><li>・建築系 新築工事・・処理委託契約を締結した事業者依頼 解体工事・・処理委託契約を締結した事業者依頼</li></ul>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	<b>【前年度（平成30年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 住宅計新築工事の産廃のデポ化 ・ 産廃処理計画書に基づく分別の徹底		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 工場でのプレハブ化・システム化による減量化 ・ 分別の徹底による再資源化への取組み		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、木くず、紙くず、繊維くず、がれき類、廃プラスチック類、金属くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、木くず、紙くず、繊維くず、がれき類、廃プラスチック類、金属くず

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量の分別の精度アップ		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・住宅系新築工事における工場デポ化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・住宅系新築工事における工場デポ化の更なる徹底		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)  ・産業廃棄物を委託できる業者と書面による契約を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙に記載	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者、熱回収業者へ委託処理する。</li> <li>・委託業者には定期的に現地確認を実施する。</li> <li>・電子マニフェストの運用の為、電子マニフェスト対応可能な処理業者から認定する。</li> </ul>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度(平成30年度)実績】										単位(t)	
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥		
	排出量	610.80	13.05	106.65	21.30	20.60	53.60	29.52	0	158.40		
①現状	(これまでに実施した取組) ・住宅系新築工事の産廃のデポ化 ・産廃処理計画に基づく分別の徹底											
	【目標】										単位(t)	
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥		
	排出量	580.26	12.40	101.32	20.24	19.57	50.92	28.04	0.00	150.48		
②計画	(今後実施する予定の取組) ・工場でのプレハブ化・システム化による減量化 ・分別の徹底による再資源化への取組み											

(第3面)別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】										単位(t)									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
①現状	(これまでに実施した取組) ・住宅系新築工事における工場デポ化 (余剰材の再生利用)																			
②計画	【目標】										単位(t)									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
②計画	(今後実施する予定の取組) ・住宅系新築工事における工場デポ化の更なる徹底																			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】										単位(t)									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
①現状	(これまでに実施した取組) _____																			
②計画	【目標】										単位(t)									
	産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
②計画	(今後実施する予定の取組) _____																			



## (第4面)別紙

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】										単位(t)									
	廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥										
	全処理委託量	610.80	13.05	106.65	21.30	20.60	53.60	29.52	0.00	158.40										
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
	再生利用業者への処理委託量	610.80	13.05	106.65	21.30	20.60	53.60	29.52	0.00	158.40										
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
	認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
(これまでに実施して取組)																				
・産業廃棄物を委託できる業者と書面による契約を行っている。																				
②計画	【目標】										単位(t)									
	廃棄物の種類	がれき類	金属くず	木くず	紙くず	ガラス及び陶磁	石膏ボード	廃プラスチック	繊維くず	汚泥										
	全処理委託量	580.26	12.40	101.32	20.24	19.57	50.92	28.04	0.00	150.48										
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
	再生利用業者への処理委託量	580.26	12.40	101.32	20.24	19.57	50.92	28.04	0.00	150.48										
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
	認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
(これまでに実施して取組)																				
・可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者、熱回収業者へ委託処理する。																				
・委託業者には定期的に現地確認を実施する。																				
・電子 manifests の運用の為、電子 manifests 対応可能な処理業者から選定する。																				